

# 事業報告書

## I 法人の概要

### 1 設置する法人・学校・学科等

法人名 学校法人 正眼短期大学（住所 岐阜県美濃加茂市伊深町872-2）  
 学校・学科 正眼短期大学 禅・人間学科（住所 岐阜県美濃加茂市伊深町876-10）

### 2 当該学校等の入学定員、学生数の状況

（平成28年5月1日現在）

	入学定員	収容定員	在籍者数
禅・人間学科	25人	50人	42人

	1回生	2回生	合計
禅・人間学科	20人	22人	42人

	人数	備考
卒業生	9人	H26秋卒4人、H27春卒5人
就職者数	4人	就職希望者5人
内 修行道場	2人	従来から従事 自営業
自営業者	1人	
家事手伝い	1人	
進学者数	1人	
その他	4人	主婦、就職準備等

### 現学生の状況

	人数	備考
留年者	4人	
留学生	1人	フランス1人
社会人学生	30人	21才以上、社会経験2年以上
長期履修学生	17人	1回生12人 2回生5人
休学者	9人	僧堂掛搭、体調不良等
退学・除籍者数	11人	

### 3 役員・教職員の概要

（平成28年5月1日現在）

#### 役員

	現員	定員
理事	16人	15～22人
監事	2人	2人
評議員	35人	31～45人

役職名	氏名	備考
理事長 兼 学長 兼 教授	山 川 宗 玄	常勤 評議員兼務
専務理事 兼 副学長 兼 教授	今 村 敬 子	常勤 評議員兼務 学識経験者
専務理事 兼 准教授(法人本部事務局長)	後 藤 安 弘	常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	柴 田 廉	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	千 坂 秀 学	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	谷 内 田 孝	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	渡 辺 俊 幸	非常勤 評議員兼務 学識経験者
理 事	遠 藤 宏 治	非常勤 評議員兼務
理 事	大 松 利 幸	非常勤 評議員兼務
理 事	坂 井 知 足	非常勤 評議員兼務
理 事	杉 山 幹 夫	非常勤 評議員兼務
理 事	高 木 一 夫	非常勤 評議員兼務
理 事	滝 多 賀 男	非常勤 評議員兼務
理 事	丹 羽 喜 人	非常勤 評議員兼務
理 事	長 谷 和 治	非常勤 評議員兼務
理 事	吉 田 豊	非常勤 評議員兼務
監 事	石 原 強 兵	非常勤
監 事	前 野 昭 道	非常勤

評議員兼職員(事務長)	包子 万由美	常勤 本学教職員
評議員兼教授(学科長)	鈴木 重喜	常勤 本学教職員
評議員兼講師(学生部長)	村瀬 正光	常勤 本学教職員
評議員兼職員	村山 順子	常勤 本学教職員
評議員	青井 有信	非常勤 卒業生
評議員	安部 慈光	非常勤 卒業生
評議員	河口 泰義	非常勤 卒業生
評議員	高林 康秀	非常勤 卒業生
評議員	武山 廣道	非常勤 卒業生
評議員	永井 稜洲	非常勤 卒業生
評議員	原田 宣昭	非常勤 卒業生
評議員	堀部 佳道	非常勤 卒業生
評議員	宇佐 晋一	非常勤 学識経験者
評議員兼講師(教務課長)	宇佐美 之規	常勤 学識経験者
評議員兼非常勤講師	野崎 康弘	非常勤 学識経験者
評議員	松岡 文夫	非常勤 学識経験者
評議員兼非常勤講師	松原 一哲	非常勤 学識経験者
評議員	光山 秀雲	非常勤 学識経験者
評議員	山本 正憲	非常勤 学識経験者

教育職員	学長	教授	准教授	講師	助手	非常勤講師	計
	(教授)1	3	1	4	0	12(1)	20人
非常勤職員1人含む							
事務職員	専任	非常勤	計				
	3	3	6人				

## II 事業の概要

### 1 沿革と事業の概要・目的

本学の開学は、臨済宗妙心寺派正眼寺住職の梶浦逸外老師が、今より60年前、戦後の荒廃した世相を觀て、「開山大師、もし今日いましなば、報恩底に何を求められるか」と自問し、逸外老師は法田を耕すことであり、法田を耕すとは、行学兼備の眞の禅僧、人材を打出することであると考へ、禅の専門道場と学校教育の一貫した教育機関の設立が必要であるとし、本学を開学したのである。

この法人の寄附行為には、「この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、人間形成を根幹とする行学一体の教育を施し、社会に有意な人材を育成することを目的とし、この法人の教育は、永久に仏教の信仰、並びに正眼禅の精神に基づいて行う」と定められている。また学則では、「仏教に関する専門の学術を研究し、禅的精神によって人格を陶冶し、もって人類文化に貢献する有為の人材を育成すること」を目的としている。この目的を達成するため、禅・人間学科を設置している。

また平成24年度より、社会人僧侶育成プログラムを開始し、臨済宗妙心寺派宗務本所宗門活性局と連携して、「第二の人生は僧侶になって、世の為人の為に活躍しませんか」の標語とともに学生を募集している。

### 2 学校法人の管理・運営

理事制度・監事制度及び評議員制度の改善や財務情報等の公開義務を定めた私立学校法の一部改正に対応するため、寄附行為の大幅改正を行い、文部科学省に寄附行為の変更申請し平成17年8月に認可された。また就業規則等も大幅改正を行い、質の高い教育・研究を行うため、円滑な管理運営体制を整備し、現代社会の変化に対応した諸規程の整備を行っている最中である。教育・研究組織は、学長のもとに教授・准教授・講師・各部長を加えた教授会を置き、大学の重要な事項を諮っている。事務組織は、学長・副学長・学科長のもとに事務部・教務部・学生部・総務部・図書館を置き運営している。

また、平成26年6月27日に「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」(平成26年法律第88号)が公布され、これを受け、「学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」(平成26年文部科学省令第25号)が平成26年8月29日に公布され、平成27年4月1日から施行されることを受け、教授会や教職員会で協議して内部規則の見直し案を作成した。私学経営研究会の弁護士へ点検を依頼して、理事会に議案として提出し、学則を含めて内部規則を大幅に改正した。主な変更点は、大学評議会を設置し、今まで教授会で協議してきた案件を協議できる体制を整えたことである。

### 3 当年度の主な事業の計画・主な事業の進捗状況

本学は平成27年度に創立60周年を迎え、記念事業として平成26年度から、図書館の耐震改修工事、旧本館の改築工事(禅文化教室棟新築工事)を進め、平成28年4月29日には開学60周年記念式典を挙行了た。本年度は、男子寮・女子寮の一部改修工事、教室棟トイレ改修工事、学内の舗装工事を予定し、夏期休業中に実施致します。

また「正眼短期大学ボランティアセンター」では、地域の人たちと学生、教職員が密接に結びつく活動(特養訪問・清掃活動・農園活動等)をしている。また地域に住む外国人に対し、本学において日本文化を紹介する国際交流活動や、ブラジル人の子供達を対象にした学童保育ボランティア活動も現在進行中である。

#### 4 設備の状況

平成27年4月から、創立60周年記念事業のため、図書館耐震改修工事を行い10月には完成。また禅文化教室棟(光徳禅文化棟)新築工事が平成28年2月末に完成し、充実した教育環境を整えつつある。

#### 5 資金調達の状況

今期においては該当する事項はありません。

#### 6 監査の状況

私立学校振興助成法の規定に基づき、公認会計士(西松達郎公認会計士事務所)の監査が実施された。また、学校法人正眼短期大学寄付行為の規定に基づき、監事の監査が実施された。監査報告書には本学監事、決算書(計算書類)に独立監査人の監査報告書が記載されている。

### Ⅲ 財務の概要

#### (1) 資金収支の状況【旧会計基準】

収入の部		(単位:千円)			
科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
学生生徒納付金	42,908	41,731	37,965	31,497	
手数料収入	775	461	588	556	
寄付金収入	19,918	19,132	21,414	16,534	
補助金収入	40,051	45,799	41,355	26,050	
資産運用収入	127	2,303	971	243	
資産売却収入	0	0	0	903	
事業収入	27,200	14,799	14,311	13,162	
雑収入	4,119	7,203	3,949	6,198	
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	7,233	10,071	7,096	11,811	
その他の収入	1,021	1,375	16,635	7,767	
資金収入調整勘定	△ 14,767	△ 23,556	△ 17,373	△ 7,462	
前年度繰越支払資金	85,383	104,535	90,488	111,344	
合 計	213,968	223,853	217,399	218,603	

支出の部		(単位:千円)			
科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
人件費支出	48,856	51,622	44,638	50,396	
教育研究経費支出	32,243	31,361	31,025	32,874	
管理経費支出	22,357	20,106	12,507	14,410	
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	2,832	28,255	11,923	0	
設備関係支出	3,055	9,456	4,290	4,074	
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	4,677	4,637	6,327	11,413	
資金支出調整勘定	△ 4,587	△ 12,072	△ 4,655	△ 9,148	
次年度繰越支払資金	104,535	90,488	111,344	114,584	
合 計	213,968	223,853	217,399	218,603	

#### 資金収支の状況【新会計基準】

収入の部		(単位:千円)
科 目	平成27年度	
学生生徒納付金収入	31,227	
手数料収入	408	
寄付金収入	259,066	
補助金収入	131,978	
資産売却収入	0	
付随事業・収益事業収入	12,816	
受取利息・配当金収入	64	
雑収入	16,867	
借入金等収入	100,000	
前受金収入	6,224	
その他の収入	100,356	
資金収入調整勘定	△ 133,349	
前年度繰越支払資金	114,584	
合 計	640,241	

支出の部		(単位:千円)
科 目	平成27年度	
人件費支出	58,644	
教育研究経費支出	47,496	
管理経費支出	23,935	
借入金等利息支出	0	
借入金等返済支出	0	
施設関係支出	434,398	
設備関係支出	20,646	
資産運用支出	0	
その他の支出	8,988	
資金支出調整勘定	△ 69,926	
翌年度繰越支払支出	116,060	
合 計	640,241	

## (2)活動区分資金収支の状況【新会計基準】

(単位:千円)

		科 目	平成27年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	31,227
		手数料収入	408
		特別寄付金収入	5,700
		一般寄付金収入	60
		経常費等補助金収入	23,635
		付随事業収入	12,216
		雑収入	16,867
		教育活動資金収入計	90,113
	支出	人件費支出	58,644
		教育研究経費支出	47,496
		管理経費支出	23,935
		教育活動資金支出計	130,075
		差 引	△ 39,962
		調整勘定等	△ 6,226
	教育活動資金収支差額	△ 46,188	
施設設備等活動による資金収支	施設設備等活動資金収入計	461,649	
	施設設備等活動資金支出計	455,044	
	差 引	6,605	
	調整勘定等	△ 59,859	
	施設設備等活動資金収支差額	△ 53,254	
小 計			△ 99,442
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	100,917	
	その他の活動資金支出計	0	
	差 引	100,917	
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	100,917	
支 払 資 金 の 増 減 額			1,475
前年度繰越支払資金			114,584
翌年度繰越支払資金			116,059

## (3)消費収支の状況【旧会計基準】

(単位:千円)

科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
授 業 料	22,863	21,828	19,781	17,347
入 学 時 納 付 金	3,125	3,500	3,375	1,500
そ の 他 の 納 付 金	16,920	16,403	14,809	12,650
手 数 料	774	461	588	556
寄 付 金	20,383	19,232	21,482	16,562
補 助 金	40,052	45,799	41,356	26,050
資 産 運 用 収 入	127	2,303	971	243
資 産 売 却 差 額	0	0	0	903
事 業 収 入	27,200	14,799	14,311	13,162
そ の 他	4,134	16,524	6,977	7,048
基 本 金 組 入 額	0	△ 20,292	△ 16,991	0
消費収入の部合計	135,578	120,557	106,659	96,021

## 支出の部

科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人 件 費	48,856	51,622	44,638	51,536
教 育 研 究 経 費	47,782	46,251	47,320	50,835
管 理 経 費	27,193	21,174	13,769	14,843
資 産 処 分 差 額	0	1,680	178	108
徴 収 不 能 額	0	0	0	0
消費支出の部合計	123,831	120,727	105,905	117,322
当年度消費収入(△支出)超過額	11,747	△ 170	754	△ 21,301
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 439,222	△ 398,952	△ 399,122	△ 398,368

基本金取崩額	28,523	0	0	5,028
翌年度繰越消費収入(△支出)超過	△ 398,952	△ 399,122	△ 398,368	△ 414,641

事業活動収支の状況【新会計基準】

(単位:千円)

		科 目	平成27年度
教 育 活 動 収 支	収 入	学 生 生 徒 納 付 金	31,227
		手 数 料	408
		寄 付 金	5,805
		経 常 費 補 助 金	23,635
		付 随 事 業 収 入	12,216
		雑 収 入	29,537
		教 育 活 動 収 入 計	102,828
	支 出	人 件 費	83,706
		教 育 研 究 経 費	63,271
		管 理 経 費	24,363
徴 収 不 能 額 等		38	
	教 育 活 動 支 出 計	171,378	
	教 育 活 動 収 支 差 額	△ 68,550	
教 育 活 動 外 収 支	収 入	受 取 利 息 ・ 配 当 金	64
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	600
		教 育 活 動 外 収 入 計	664
	支 出	借 入 金 等 利 息	0
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0
		教 育 活 動 外 支 出 計	0
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	664	
	経 常 収 支 差 額	△ 67,886	
特 別 収 支	収 入	資 産 売 却 差 額	0
		そ の 他 の 特 別 収 入	361,649
		特 別 収 入 計	361,649
	支 出	資 産 処 分 差 額	3,069
		そ の 他 の 特 別 支 出	0
	特 別 支 出 計	3,069	
	特 別 収 支 差 額	358,580	
	基本金組入前当年度収支差額	290,694	
	基本金組入額合計	△ 47,185	
	当年度収支差額	243,509	
	前年度繰越収支差額	△ 414,641	
	基本金取崩額	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 171,132	

事業活動収入計	465,141
事業活動支出計	174,447

## (4)貸借対照表【旧会計基準】

(単位:千円)

資 産 の 部				
科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
固 定 資 産	526,204	546,449	545,021	530,656
有 形 固 定 資 産	416,510	433,739	433,275	419,867
そ の 他 の 固 定 資 産	109,694	112,710	111,746	110,789
流 動 資 産	105,809	106,811	119,410	114,960
合 計	632,013	653,260	664,431	645,616

負 債 ・ 基 本 金 及 び 消 費 収 支 差 額 の 部				
科 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
負 債	51,914	53,039	46,465	48,950
固 定 負 債	40,019	30,719	27,716	28,033
流 動 負 債	11,895	22,320	18,749	20,918
基 本 金	979,051	999,343	1,016,334	1,011,307
消 費 収 支 差 額	△ 398,952	△ 399,122	△ 398,368	△ 414,641
合 計	632,013	653,260	664,431	645,616

## 貸借対照表【新会計基準】

(単位:千円)

資産の部	
科目	平成27年度
固 定 資 産	866,507
有 形 固 定 資 産	856,038
特 定 資 産	0
そ の 他 の 固 定 資 産	10,469
流 動 資 産	237,528
合 計	1,104,035

負債の部・純資産の部	
科目	平成27年度
総 負 債	216,675
固 定 負 債	140,460
流 動 負 債	76,215
基 本 金	1,058,492
繰 越 収 支 差 額	△ 171,132
合 計	1,104,035

## 財務の概要

## 1 資金収支計算書の概要

(資金収支計算書から見た概要及び前年度との対比)

資金収支計算書は、その会計年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日)の教育研究活動に対応する資金の用途(資金収支)と資金調達の総てを明らかにすることを目的としています。

各科目の主な内容は、次のとおりです。なお、文中の金額は、千円未満を四捨五入して表示しているため、計算上と一致しない場合があります。

## 【資金収入の部】

## (1) 学生生徒等納付金収入

前年度比270千円減の31,227千円となりました。

学生数は前年度比8名減の42名ですが、長期履修生や休学生等もあり、若干減で済んでおります。

## (2) 手数料収入

前年度比148千円減の408千円となりました。

この科目の主たる収入は、入学志願者の検定料収入であります。

(3) 寄附金収入

前年度比242,532千円増の259,066千円となりました。

開学60周年記念事業による図書館耐震改修工事・光徳禅文化棟新築工事のため、企業・団体(宗教法人を含む)・個人(卒業生を含む)などからのものです。

(4) 補助金収入

前年度比105,928千円増の131,978千円となりました。

開学60周年記念事業による図書館耐震改修工事・光徳禅文化棟新築工事による国庫補助金です。

(5) 資産売却収入

前年度比903千円減の0円となりました。

(6) 付随事業・収益事業収入

前年度比346千円減の12,816千円となりました。

収益事業の減少によります。

(7) 受取利息・配当金収入

64千円となりました。

(8) 雑収入

前年度比10,669千円増の16,867千円となりました。

主な増加は、退職金の財源となる私立大学退職金財団からの交付金です。

(9) 借入金等収入

前年度比100,000千円増の100,000千円となりました。

私学事業団・共済事業団からの長期借入金で、開学60周年記念事業による図書館耐震改修工事・光徳禅文化棟新築工事のためです。借入期間は20年です。

(10) 前受金収入

前年度比5,587千円減の6,224千円となりました。

入学学生数の減少によります。

(11) その他の収入

前年度比92,589千円増の100,356千円となりました。

主な理由は、60周年記念事業による図書館耐震改修工事・光徳禅文化棟新築工事のため、第2号基本金引当特定資産取崩収入の100,000千円です。

【資金支出の部】

(1) 人件費支出

前年度比8,248千円増の58,644千円となりました。

主な内容は、退職者1名による退職金です。

(2) 教育研究経費支出

前年度比14,622千円増の47,496千円となりました。

開学60周年記念事業によります。

(3) 管理経費支出

前年度比9,525千円増の23,935千円となりました。

主な増加は、開学60周年記念事業の実施に伴う経費等です。

(4) 借入金等利息支出

0千円となりました。

返済は平成31年3月から発生致します。

(5) 借入金等返済支出

0千円となりました。

返済は平成30年3月から発生致します。

(6) 施設関係支出

434,398千円となりました。

主な内容は、図書館耐震改修と光徳禅文化棟の工事です。



(7)設備関係支出  
20,646千円となりました。  
主な内容は、図書館耐震改修と光徳禅文化棟の整備費用です。

(8)資産運用支出  
0千円となりました。

(9)その他の支出  
8,988千円となりました。

## 2 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」と「その他の活動」の三つの活動区分に区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにすることを目的としています。

### (1)教育活動による資金収支の状況

「教育活動」の収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄附金収入、補助金収入などです。寄附金収入及び補助金収入のうち、施設設備に係わる寄附金、補助金は、「施設整備等活動」の収入に区分されます。

「教育活動」の支出は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出です。

平成27年度の教育活動資金収入計は、90,113千円、教育活動資金支出計は、130,075千円で、差引△39,962千円となり、調整勘定等△6,226千円を加味した教育活動資金収支差額は、△46,188千円となりました。

### (2)施設整備等活動による資金収支の状況

「施設整備等活動」の収入は、施設整備補助金収入など施設設備の整備を目的としたものです。「施設整備等活動」の支出は、施設・設備関係支出です。

平成27年度の施設整備等活動資金収入計は、461,649千円、施設整備等活動資金支出計は、455,044千円で、差引6,605千円となり、調整勘定等△59,859千円を加味した施設整備等活動資金収支差額は、△53,254千円となりました。

また、教育活動資金収支差額と施設設備等活動資金収支差額の計は、△99,442千円となりました。

### (3)その他の活動による資金収支の状況

「その他の活動」の収入は、借入金収入・受取利息・配当金収入などです。「その他の活動」の支出は、借入金等返済支出、借入金等利息支出などです。

平成27年度のその他の活動資金収入計は、100,917千円、その他の活動資金支出計は、0千円で、その他の活動資金収支差額は、100,917千円となりました。

以上の結果、支払資金の増減は、1,475千円となり、前年度繰越支払資金114,584千円を加えた翌年度繰越支払資金は、116,059千円となりました。

## 3 事業活動収支計算書の概要

### (事業活動収支計算書からみた概要)

事業活動収支計算書は、「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」と「臨時的活動」の各活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、「基本金組入額」を控除した当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにすることを目的としています。

### (1)経常収支(教育活動・教育活動外収支)の状況

学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入は、102,828千円となりました。人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出は、171,378千円となりました。その結果、教育活動収支差額は△68,550千円となり、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した経常収支差額は△67,886千円となりました。

### (2)特別収支の状況

施設整備に係わる現物寄付や補助金などの特別収入は、361,649千円となりました。特別支出は、3,069千円となりました。その結果、特別収支差額は、358,580千円となりました。

### (3)基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額と特別収支差額を合算した基本金組入前当年度収支差額は、290,694千円となりました。

(4) 当年度収支差額・翌年度繰越収支差額

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計47,185千円を差し引いた当年度収支差額は、243,509千円となりました。

前年度繰越収支差額△414,641千円と当年度収支差額を合算した翌年度繰越収支差額は△171,132千円となりました。

4 貸借対照表の概要

(貸借対照表から見た概要及び前年度との対比)

貸借対照表は、期末における財政状態を示しています。資産がどのような調達源泉、すなわち負債(借入金等)、基本金(自己資金により調達した額)及び繰越収支差額によってまかなわれているかを表示しています。

(1) 資産の状況

年度末の資産の部合計は、1,104,035千円で、前年度末に比べて458,419千円増となりました。有形固定資産は、前年度より436,171千円増の856,038千円となりました。主な要因は、図書館耐震改修工事と光徳禅文化棟新築工事による建物と構築物及び教育研究用機器備品です。

特定資産は0千円となりました。

その他の固定資産は、前年度に比べて319千円減の10,469千円となりました。

流動資産は、122,568千円増の237,528千円となりました。増加の要因は、未収入金の増加によります。

(2) 負債の状況

負債の部合計は、216,675千円で、前年度末に比べて167,724千円増となりました。

固定負債は、前年度末に比べて112,427千円増の140,460千円となりました。増加の要因は、開学60周年記念事業による長期借入金100,000千円です。

流動負債は、前年度末に比べて55,297千円増の76,215千円となりました。増加の要因は、未払金の増加によります。

(3) 純資産の状況

純資産の部合計は、887,360千円で、前年度末の比べて290,695千円増となりました。

基本金は、平成27年度に47,185千円組入れたことにより、1,058,492千円となりました。

繰越収支差額は、事業活動収支計算の結果、243,510千円増となり171,132千円の繰越収支超過となりました。

IV 対処すべき課題

現在の少子化という状況において、学生数の減少が続けば経営状況の悪化は避けられないものとなる。このため大学の特色を明確に定め、これに基づいた事業を実施する事で他の学校との差別化をはかり、入学者を確保する必要がある。また開学60周年記念事業による借入金(1億円)があることもあり、財政基盤をより一層安定化させる対策(寄付金収入や公開講座等の収入等)が必要である。さらに、文部科学省が推進している地域連携生涯学習教育の提供に努力し、これに対応した事業の実施を検討していく必要がある。